



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	30,563,199株	2021年3月期	一株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,175,400株	2021年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	28,377,199株	2021年3月期1Q	一株

(注) 当社は2021年4月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績および前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は2021年4月1日に単独株式移転により設立されました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績および前年同四半期実績はありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 主力品の売上高	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2021年4月1日に単独株式移転によりあすか製薬株式会社の完全親会社として設立されました。

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社経営成績は以下のとおりであります。

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
2022年3月期第1四半期	14,221	1,188	1,329	1,098
(ご参考) 2021年3月期第1四半期	13,714	898	987	739

(ご参考) 2021年3月期第1四半期実績はあすか製薬株式会社として公表した数値であります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業は薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。製品別にみると、内科領域の主力品である甲状腺ホルモン製剤「チラーゼン」が19億4千5百万円と堅調な売上高を維持したなか、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も12億4千7百万円と好調に推移しました。産婦人科領域においてはGnRHアンタゴニスト「レルミナ」が17億8千8百万円、月経困難症治療剤「フリウエル」は8億4百万円と大幅な伸長となりました。また泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リユープロレリン」が11億6千1百万円となりました。

以上の結果、売上高は128億4千万円、セグメント利益は12億4千7百万円となりました。

※主力品の売上高については3. 補足資料に記載しておりますので、ご参照ください。

## ② その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業については、動物用医薬品事業における畜産薬品、飼料添加物を中心に売上が好調に推移しました。

以上の結果、売上高は13億8千1百万円、セグメント利益は1億円となりました。

## &lt;新型コロナウイルス感染症拡大による事業および業績への影響&gt;

現時点で当社業績への影響は軽微です。また新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続きステーキホルダーの安全に最優先の配慮を払いながら、事業活動を継続してまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、817億1千7百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金101億4千1百万円、受取手形、売掛金及び契約資産135億7千1百万円など流動資産が396億1千5百万円、有形固定資産125億2千万円、投資有価証券125億1千4百万円など固定資産が421億2百万円であります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、364億3百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金33億5千4百万円など流動負債が159億6千6百万円、長期借入金127億4千7百万円、退職給付に係る負債65億3千3百万円など固定負債が204億3千7百万円であります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、453億1千3百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金438億1千4百万円など株主資本が426億4千5百万円、その他有価証券評価差額金27億8千9百万円などその他の包括利益累計額が26億6千8百万円であります。

その結果、自己資本比率は55.5%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では不確定要素も多いことから、2021年5月11日の「2022年3月期通期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

(4) 研究開発活動に関する説明

当第1四半期連結累計期間における研究開発費総額は、10億5千4百万円であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	10,141
受取手形、売掛金及び契約資産	13,571
商品及び製品	8,927
仕掛品	691
原材料及び貯蔵品	4,434
その他	1,848
貸倒引当金	△0
流動資産合計	39,615
固定資産	
有形固定資産	12,520
無形固定資産	
無形固定資産仮勘定	8,421
その他	3,224
無形固定資産合計	11,646
投資その他の資産	
投資有価証券	12,514
その他	5,439
貸倒引当金	△17
投資その他の資産合計	17,935
固定資産合計	42,102
資産合計	81,717
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	3,354
電子記録債務	2,764
短期借入金	2,848
その他の引当金	555
その他	6,443
流動負債合計	15,966
固定負債	
長期借入金	12,747
環境対策費用引当金	820
退職給付に係る負債	6,533
その他	336
固定負債合計	20,437
負債合計	36,403
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	1,197
資本剰余金	921
利益剰余金	43,814
自己株式	△3,288
株主資本合計	42,645
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,789
為替換算調整勘定	△84
退職給付に係る調整累計額	△36
その他の包括利益累計額合計	2,668
純資産合計	45,313
負債純資産合計	81,717

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	14,221
売上原価	7,531
売上総利益	6,690
販売費及び一般管理費	5,501
営業利益	1,188
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	130
持分法による投資利益	64
その他	39
営業外収益合計	234
営業外費用	
支払利息	14
休止固定資産費用	53
その他	24
営業外費用合計	92
経常利益	1,329
税金等調整前四半期純利益	1,329
法人税、住民税及び事業税	165
法人税等調整額	65
法人税等合計	230
四半期純利益	1,098
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,098

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,098
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△35
退職給付に係る調整額	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△84
その他の包括利益合計	△112
四半期包括利益	986
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	986

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	12,840	1,381	14,221	—	14,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	12	12	△12	—
計	12,840	1,394	14,234	△12	14,221
セグメント利益	1,247	100	1,348	△160	1,188

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△160百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高  
( 2 0 2 2 年 3 月 期 第 1 四 半 期 実 績 )

あすか製薬株式会社

(単位：百万円)

品 目 名	前 期 2021年3月期		当 期 2022年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第1四半期 実績	年間実績	第1四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	3,236	12,329	3,198	10,605	△ 1.2
甲状腺ホルモン剤 チラーヂン	1,845	7,209	1,945	7,279	5.4
子宮筋腫治療剤 レルミナ	1,127	5,709	1,788	7,257	58.6
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	1,118	4,334	1,247	5,301	11.5
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	1,150	4,502	1,161	3,919	1.0
月経困難症治療剤 フリウェル	652	2,952	804	2,655	23.3
抗甲状腺剤 メルカゾール	361	1,401	381	1,466	5.5
高血圧症治療剤 アムロジピン	337	1,294	291	1,102	△ 13.8
筋萎縮性側索硬化症用剤 リルゾール	289	1,083	258	1,026	△ 10.8
経口避妊剤 アンジュ	232	908	230	1,016	△ 0.9

※ カンデサルタン配合剤を含む